Gôkan:(No. 039)
Saikoku Kidan.
Book 1--20.

西国奇談
巻之壱

へ 13
3696
1

新増補西國奇談
爲永春水補綴
一壽齋國貞画
初編下
芝神明前
喜鶴堂
初編上
仆題曲亭主人

新増補
西國奇談
春水補綴
國貞画
外題西国奇談
二編下
二編上

新増補
西國奇談三編
外題西の國
喜鶴堂版
上
爲永春水補綴
一壽齋國貞画
下

門へ13
號3696
巻1

新増補

西國奇談

三篇下冊

春水作

國貞画

司馬 佐野喜板

昔稔五坊亭德外子の著作の内に西國奇談月夜神樂と表題せるもの前後合卷の一冊ありしに其首尾全からざれば尚續篇を書かんと看官もひとしく願ひしかども彫板磨滅せしかば西門外にさえとどまりその述作の當世わかりがたく見て見ぬ增補かさめ且嗣編をも綴りそよと。

書賈の需に辭ちがたくかそと言ふの作家の物体需めらるる儀得風に帆と西國船に乘り來るツイ思ひそめ

請合仕事 硯の海に波立つる

筆頭に碇をおろさばの後より後を編そへて續て高覽に入る爲〜とかの。

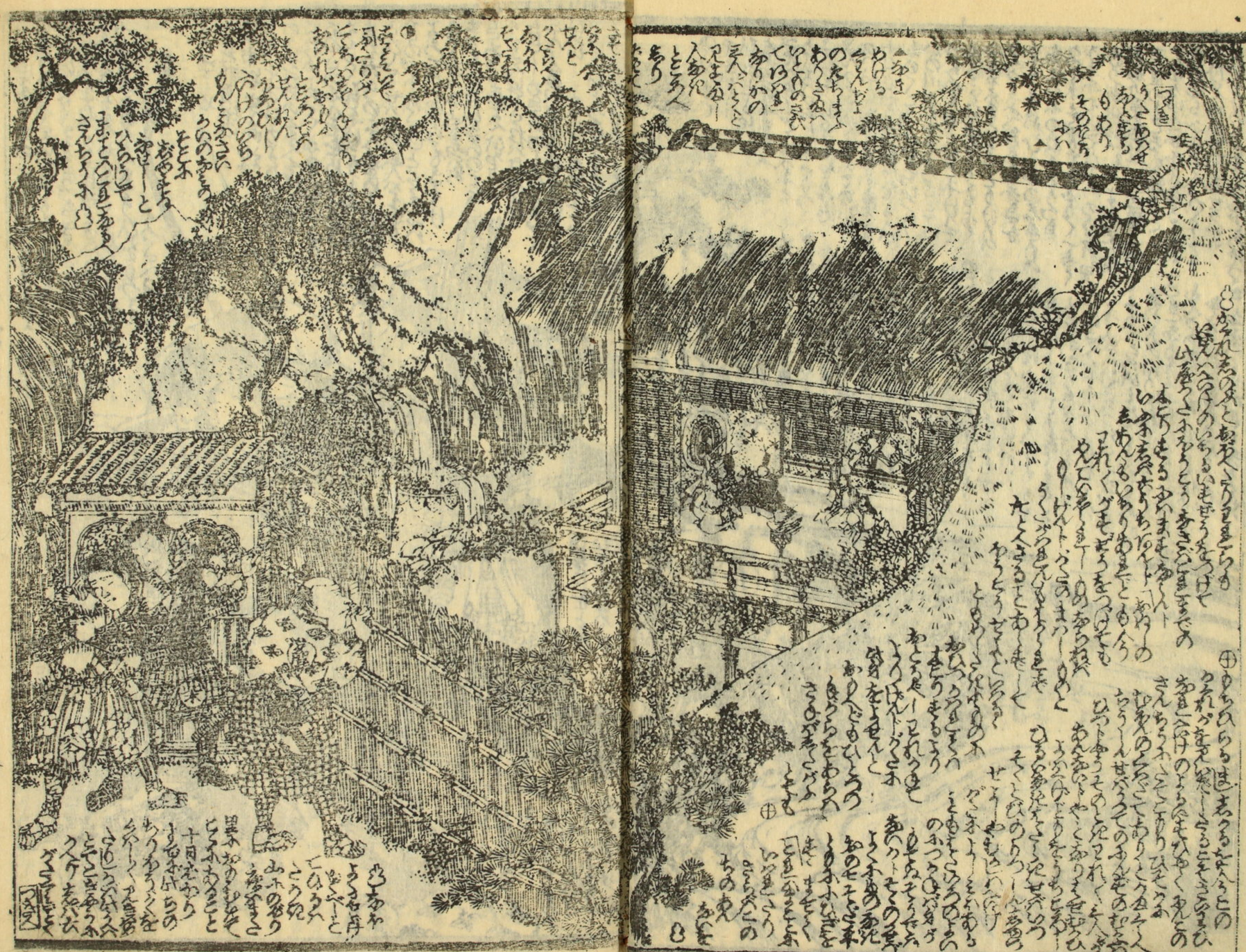
安政三稔丙辰初春 發市

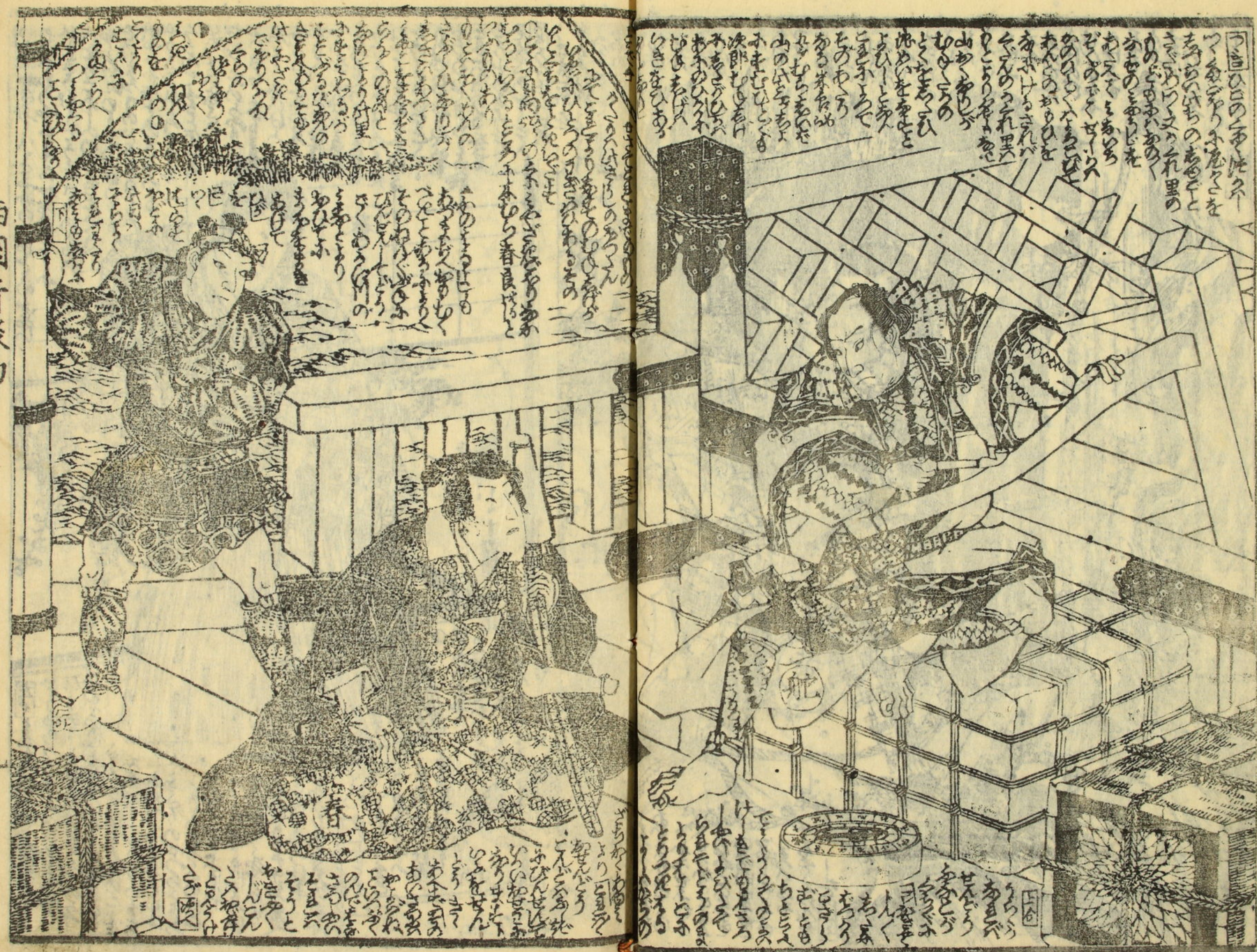
爲永 春水誌

沖の小嶋の竜女
那須與市宗高
木村
春良
集人之助
赤松
曹三
後ゲ妻空音

西国奇談初
赤松妖齋
朝日丸の船頭舵右衛門
惡漢柴六
千潟の磯魚

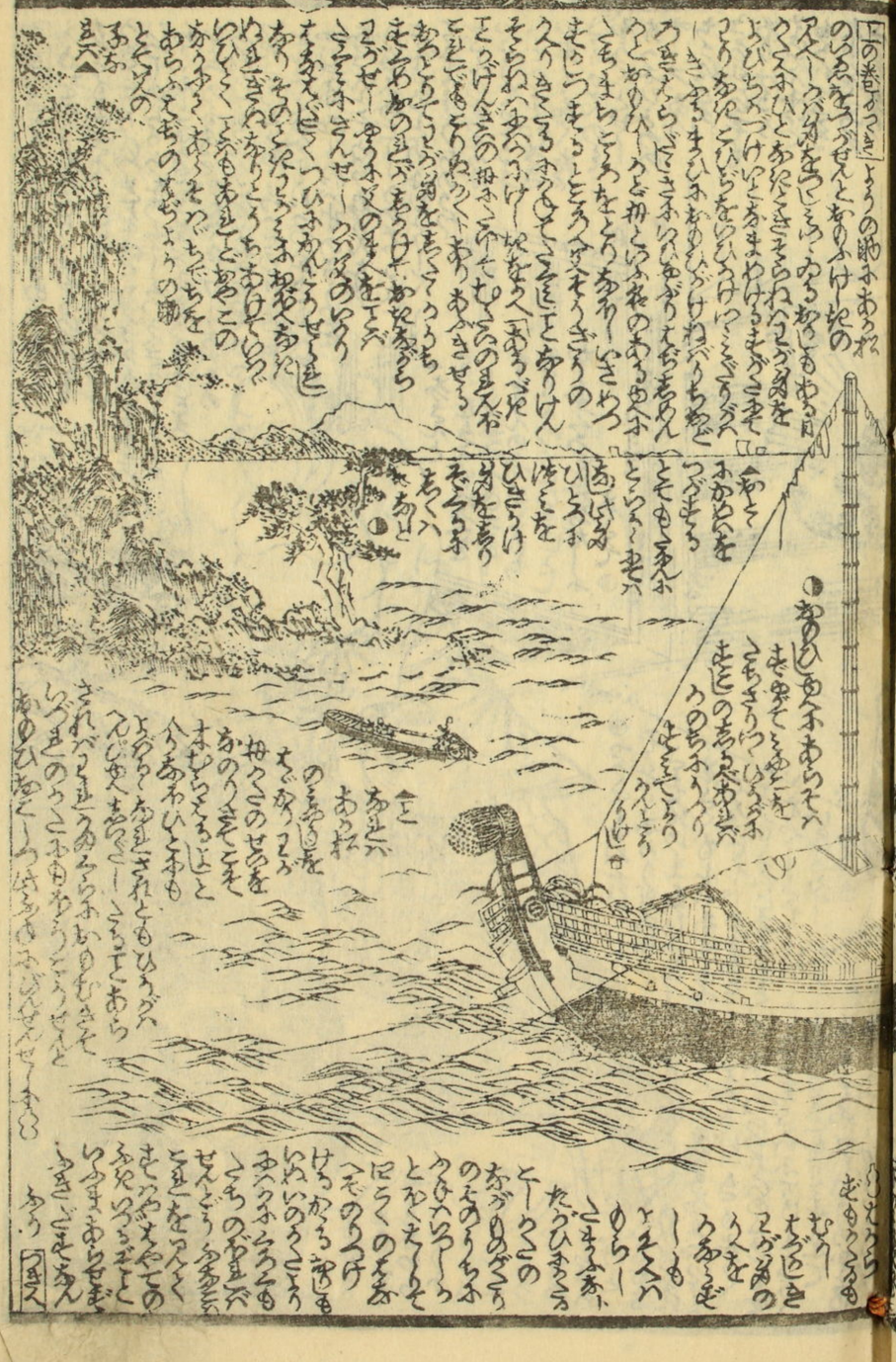
鹿
柴




春

春う
父
曹三
継母
空れ
音

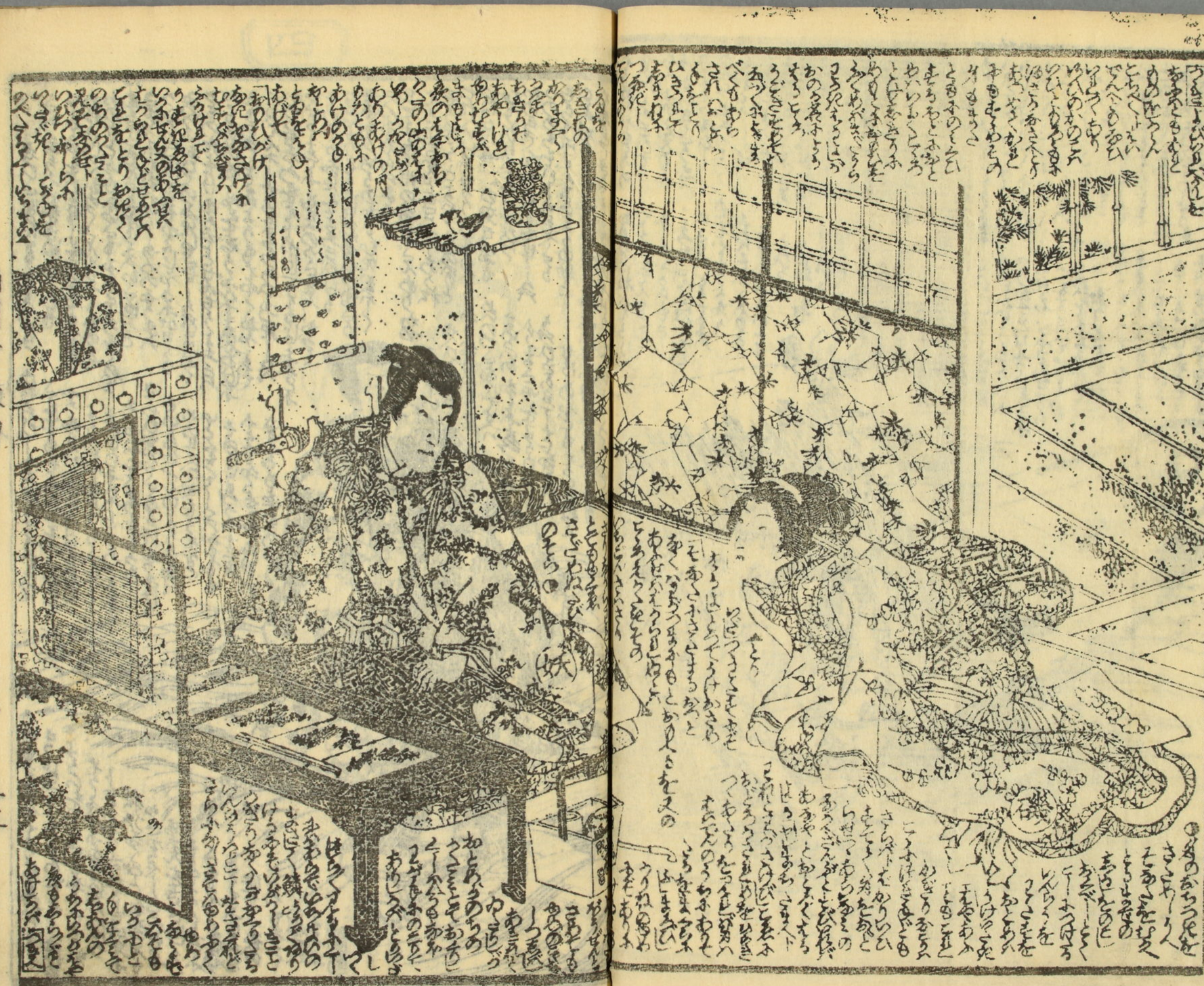
國貞画 春水補綴



春
福屋
玉前

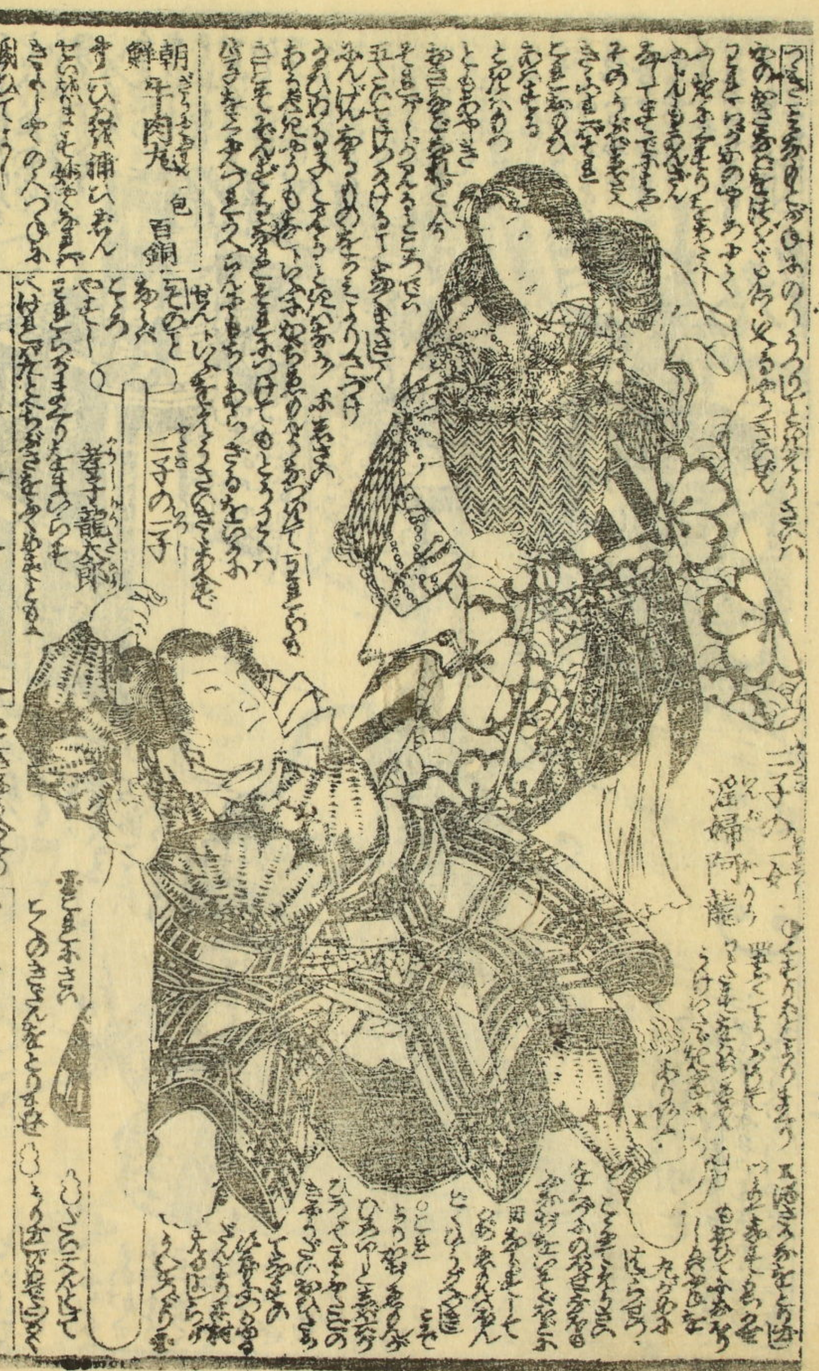
西国巡礼
一
三十番
朝倉法蓮寺
春

西国巡礼
竜女

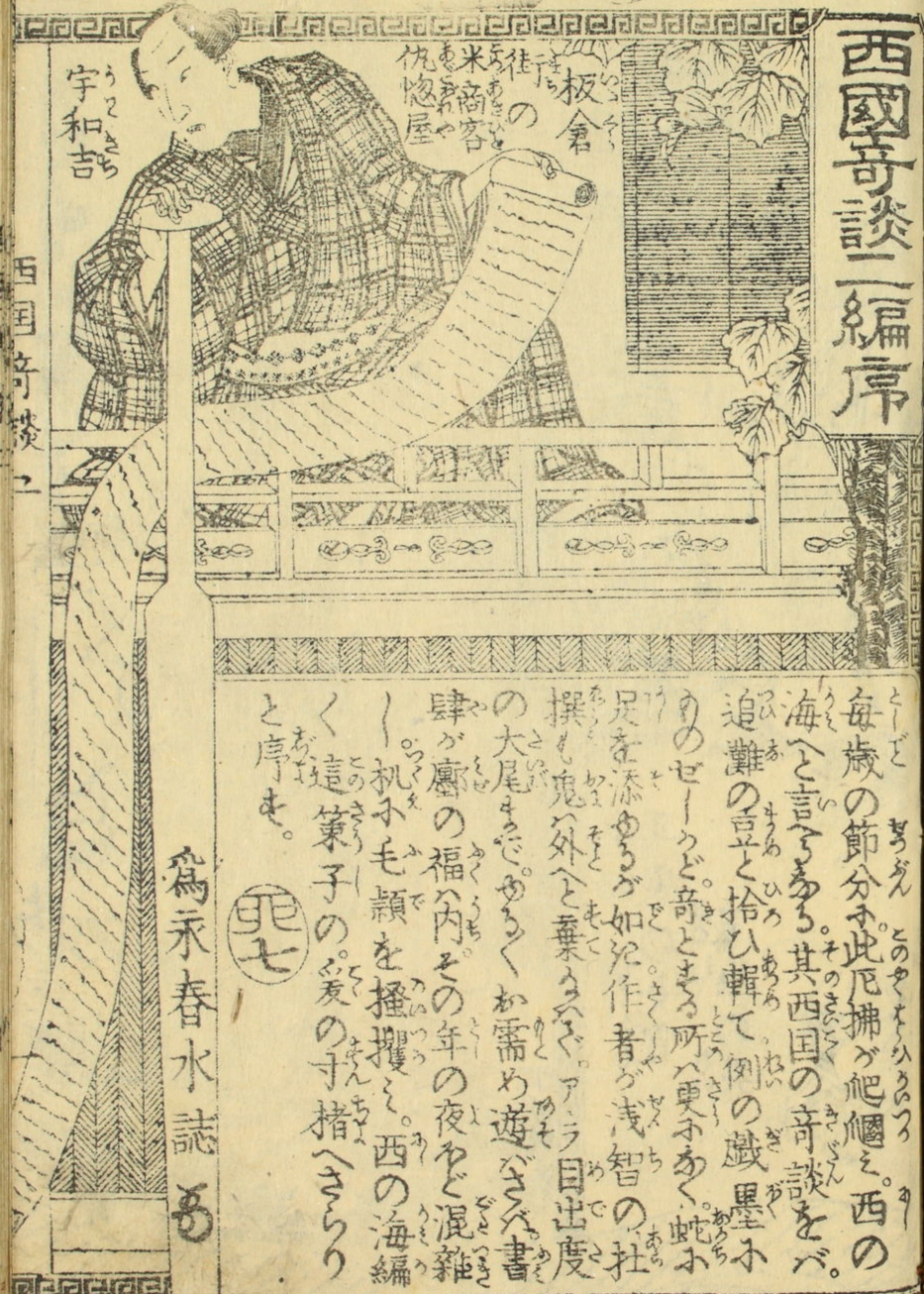


妖

西国巡詩
朝日丸

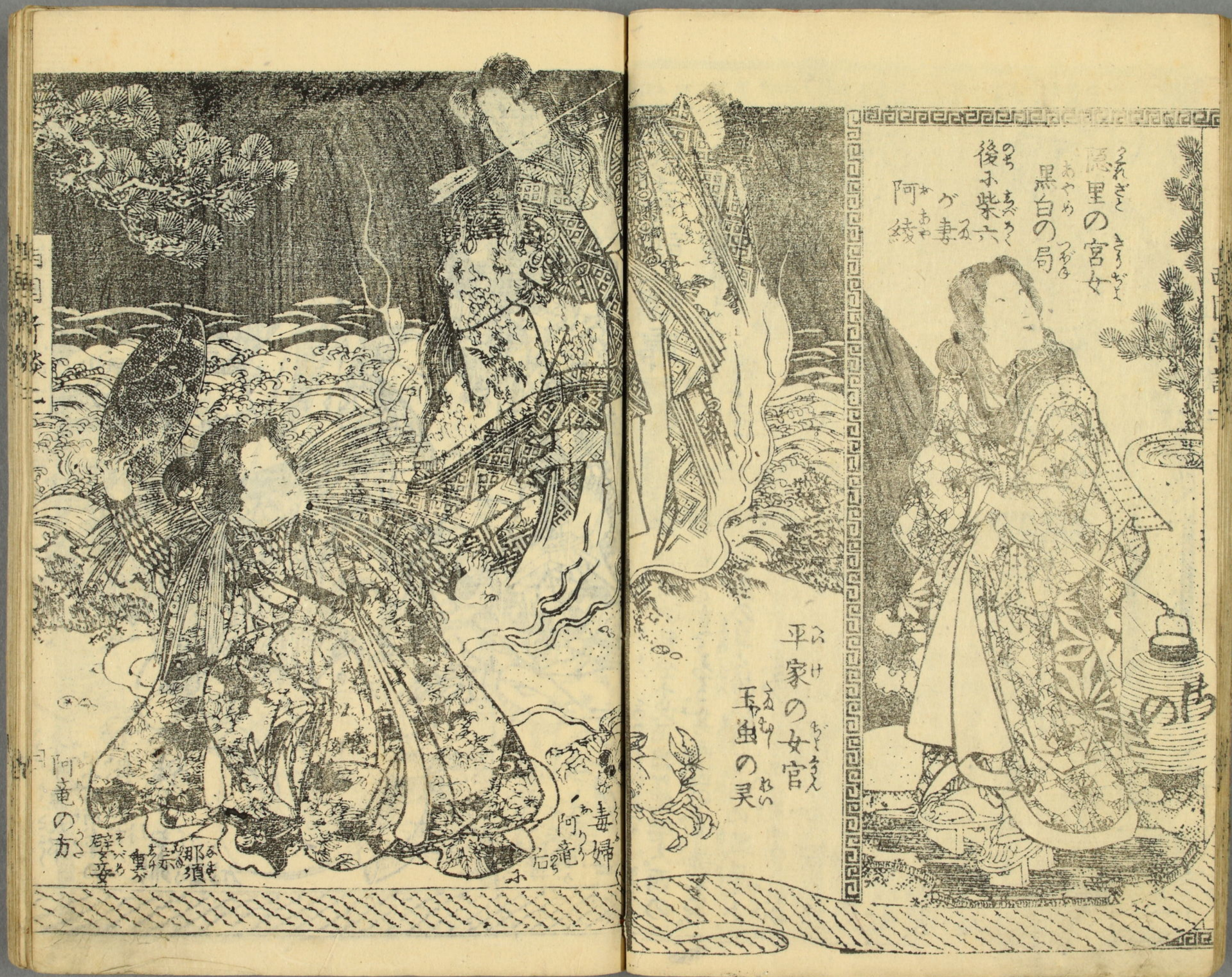


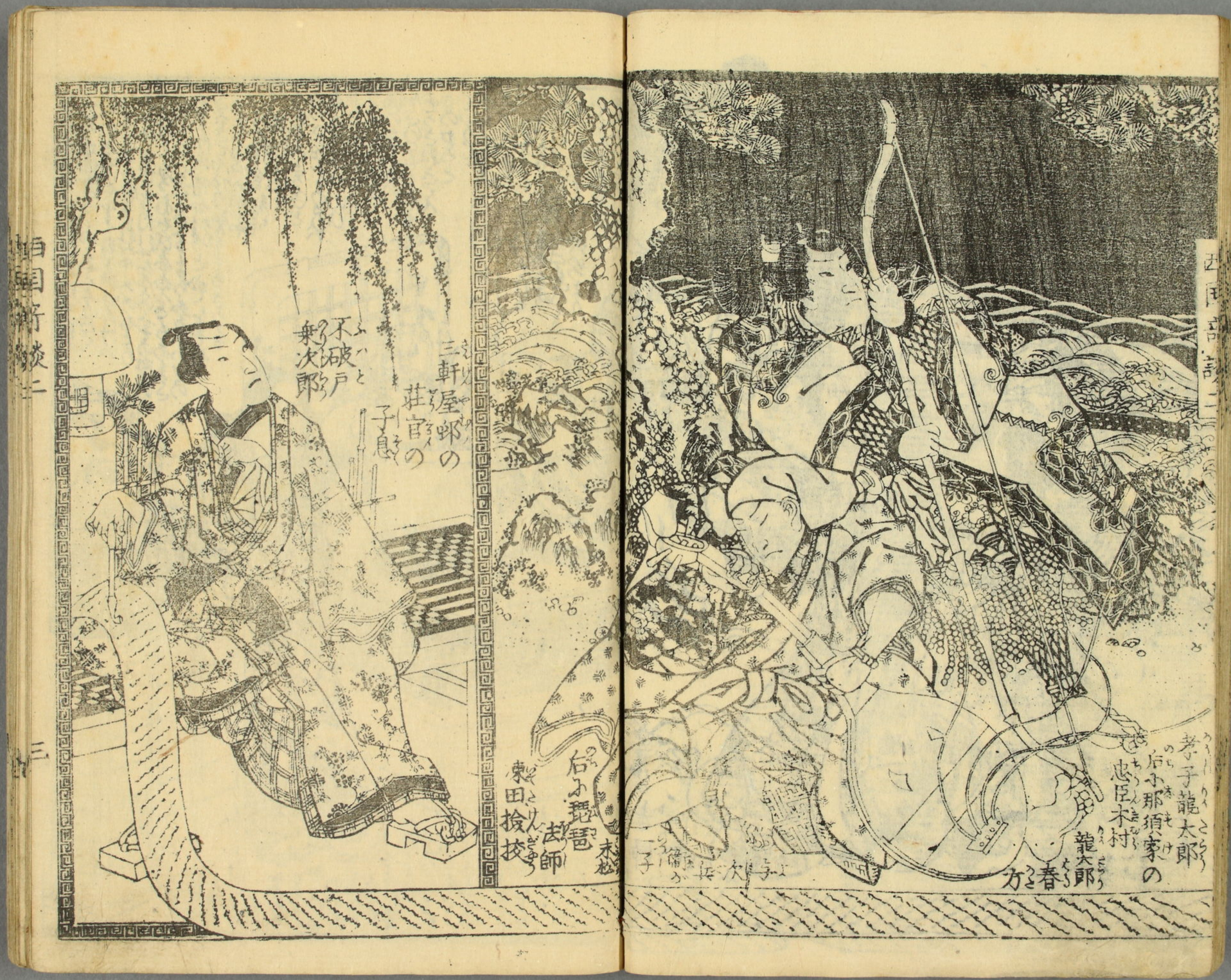
西國奇談二編序

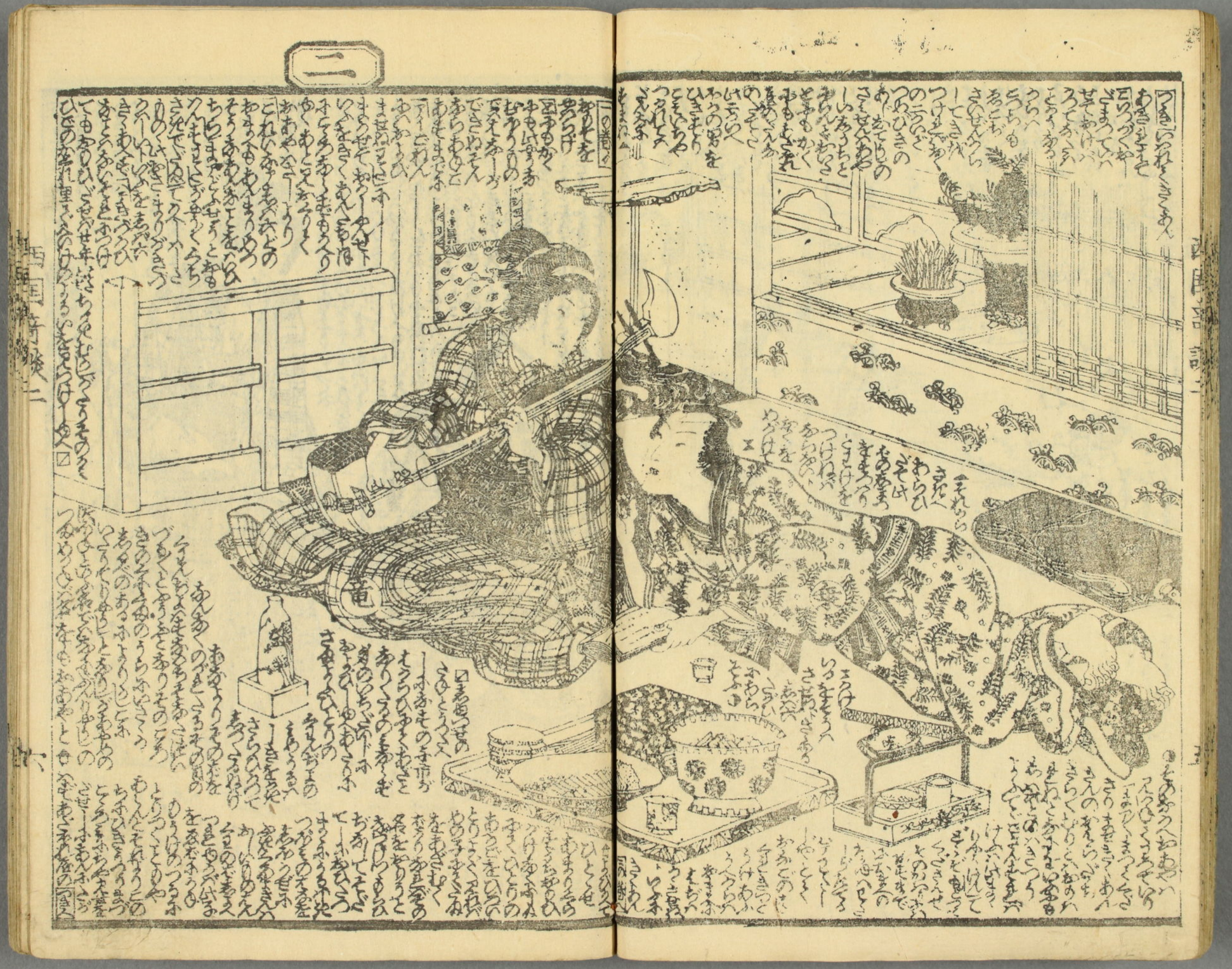


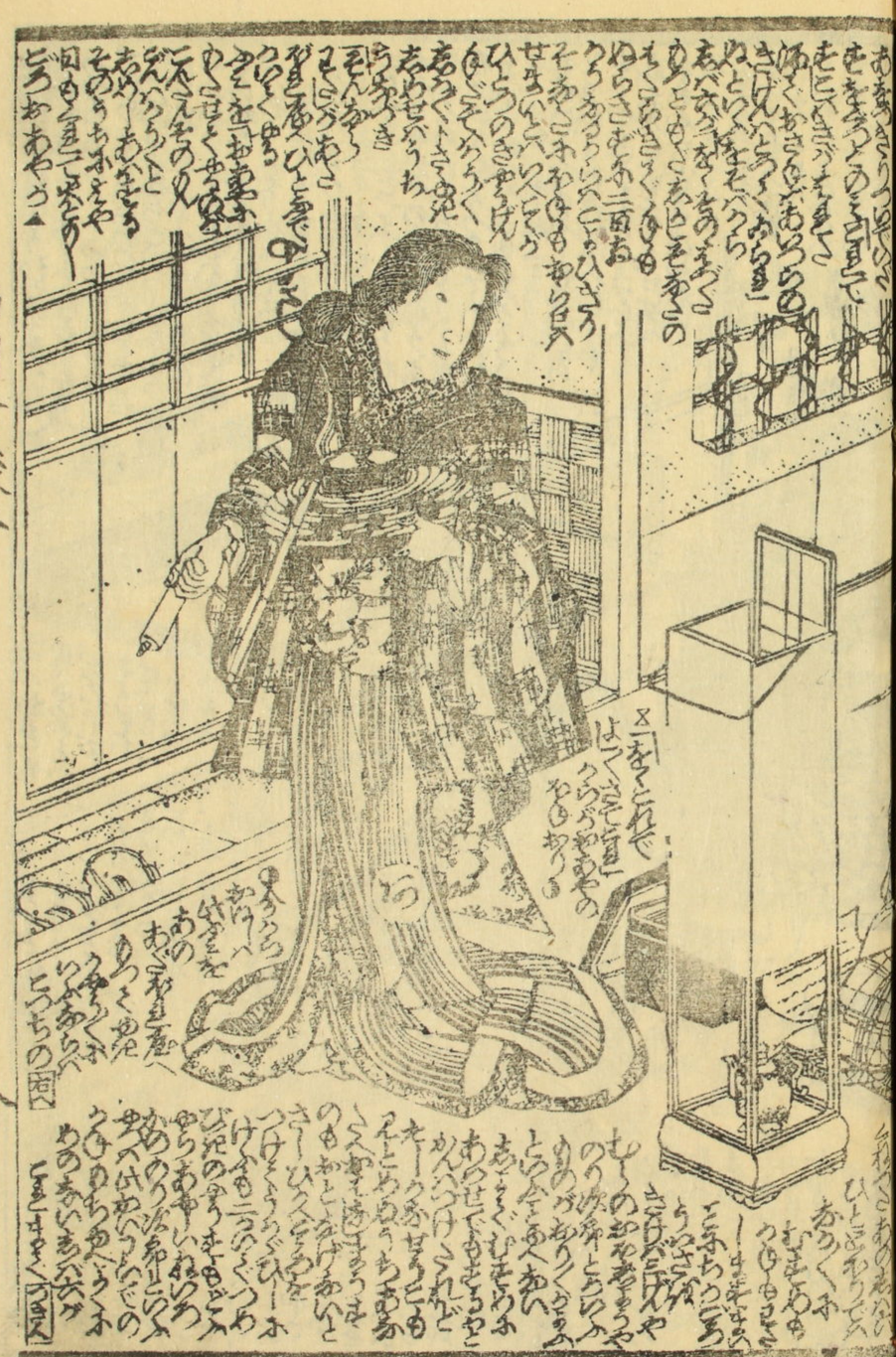
毎歳の節分ハ此厄拂ヲ爀爀と。西の海へと言て撒る。其西国の奇談をバ。追難の言葉と拾ひ輯て。例の戯墨ハ。のゼーンど。奇とまる所へ更ハ。蛇ハ足を添ゆるが如。作者ヲ浅智の扯撰も鬼ハ外へと棄ゝ。アラ目出度の大尾。ゆるく。お需め遊ばされ書肆が廓の福ハ内。その年の夜ゆゑ混雑。机ハ毛頭を掻攫て。西の海編く這策子のぺゑの寸楮へさらりと序も。

爲永春水誌


隠里の宮女
黒白の局
後ホ柴六ガ妻
阿綾
平家の女官
玉虫の夫
毒婦
阿竜
阿竜の方
那須
三木
重ガ
壁安


孝子龍太郎
石ふ那須家の
忠臣木村
龍太郎
春方
三軒屋邸の
荘官の
子息
不破戸
弁次郎
石ふ琵琶
法師
東田捻技
赤松

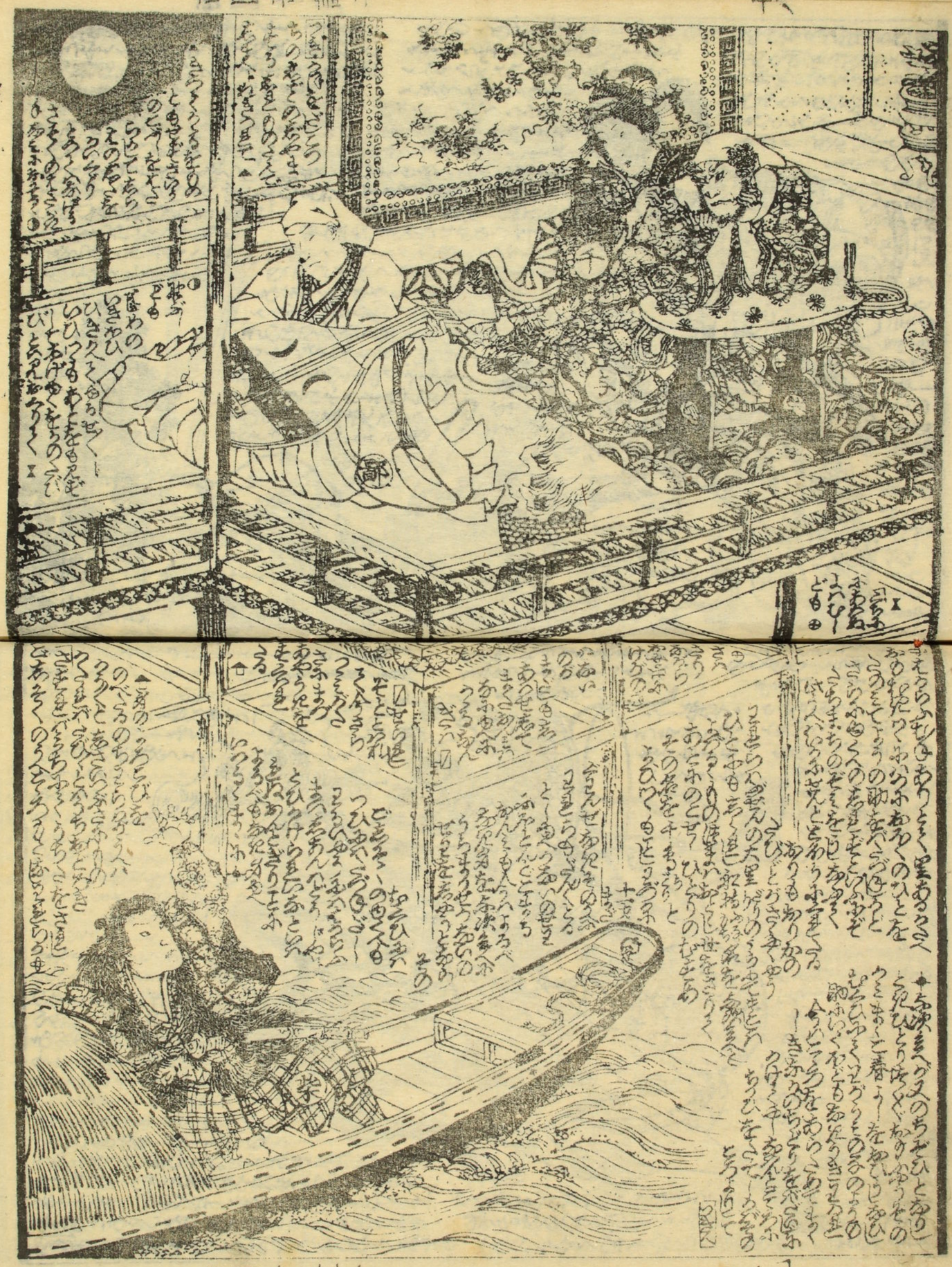


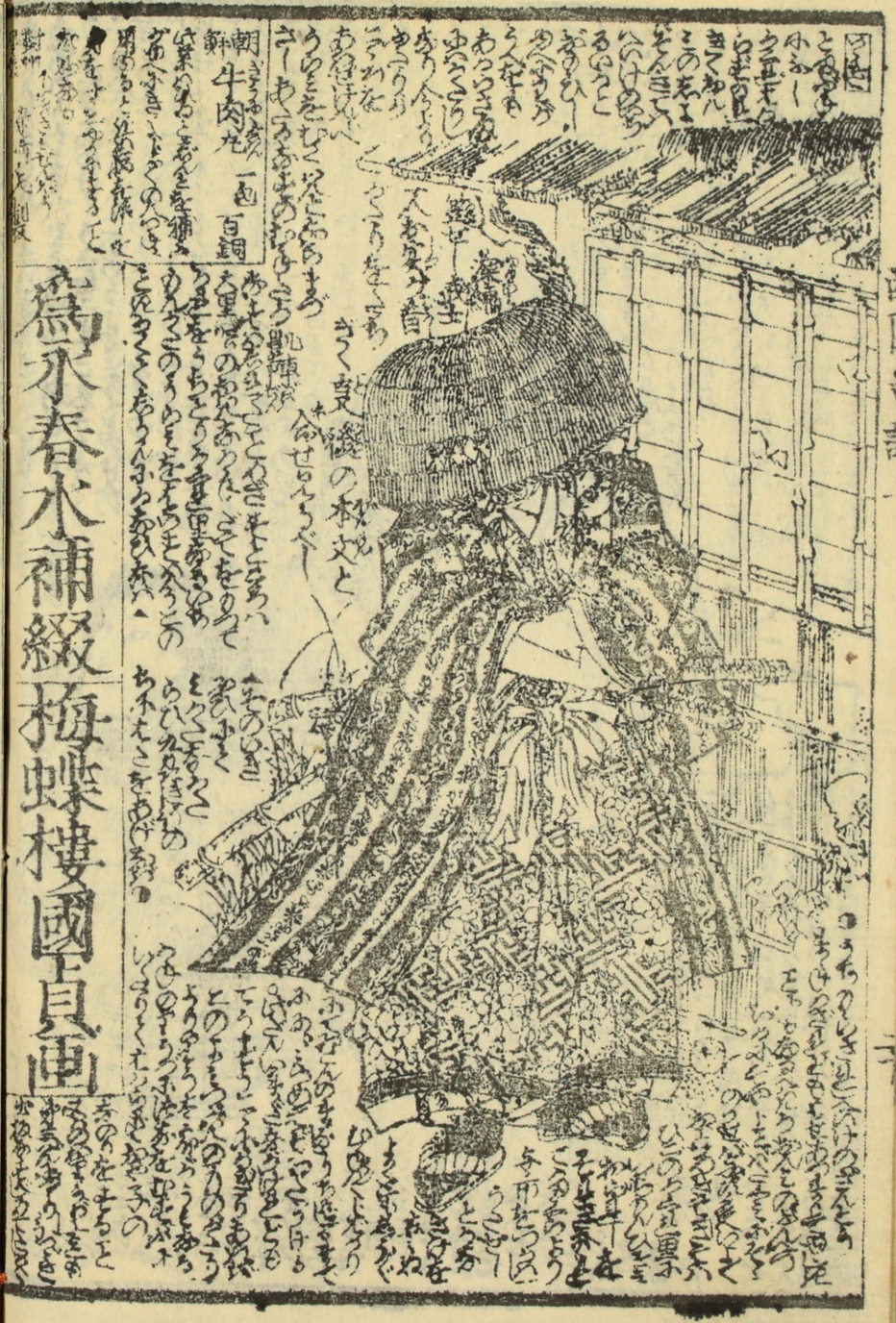


國貞山春木補綴

龍

火の用心

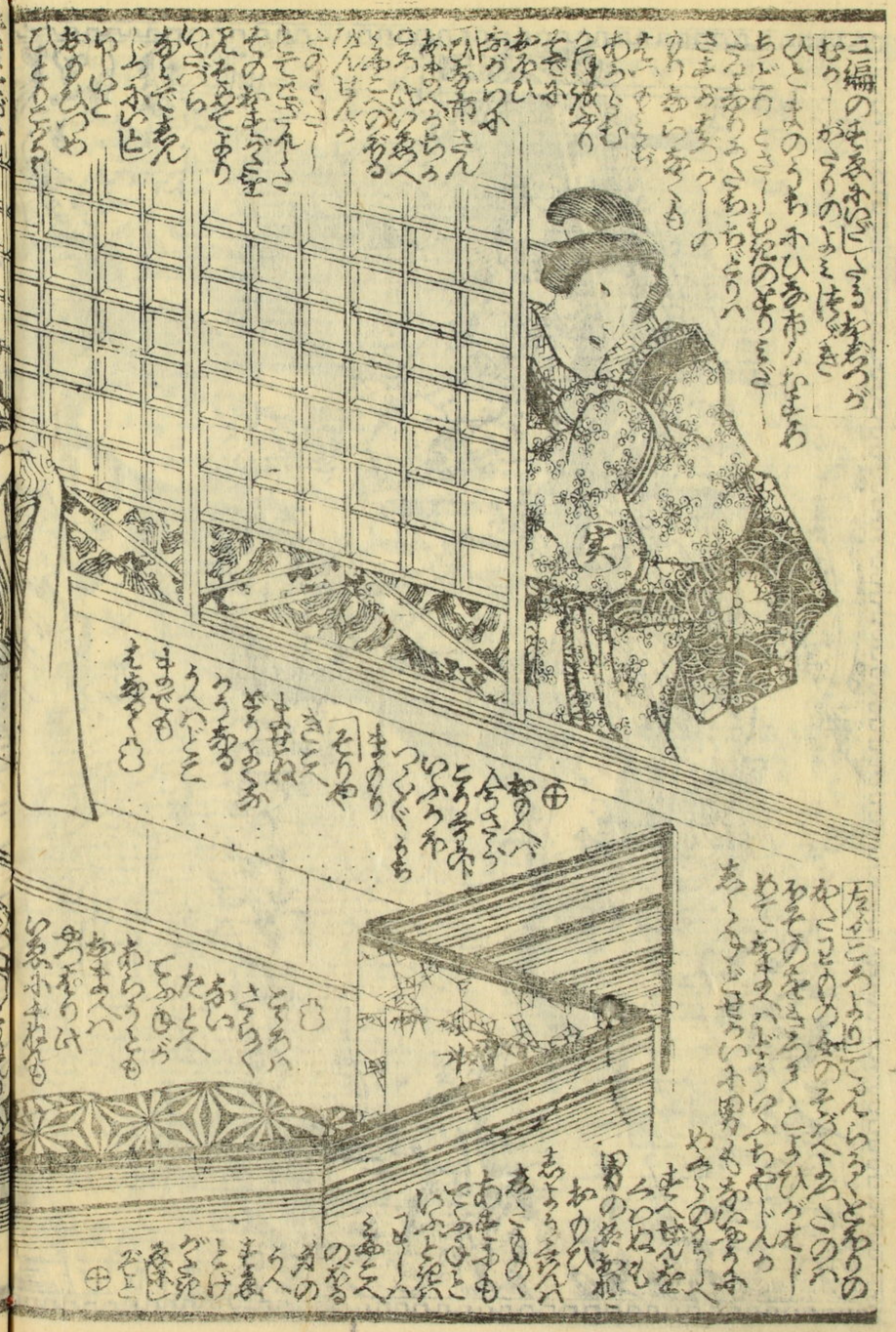


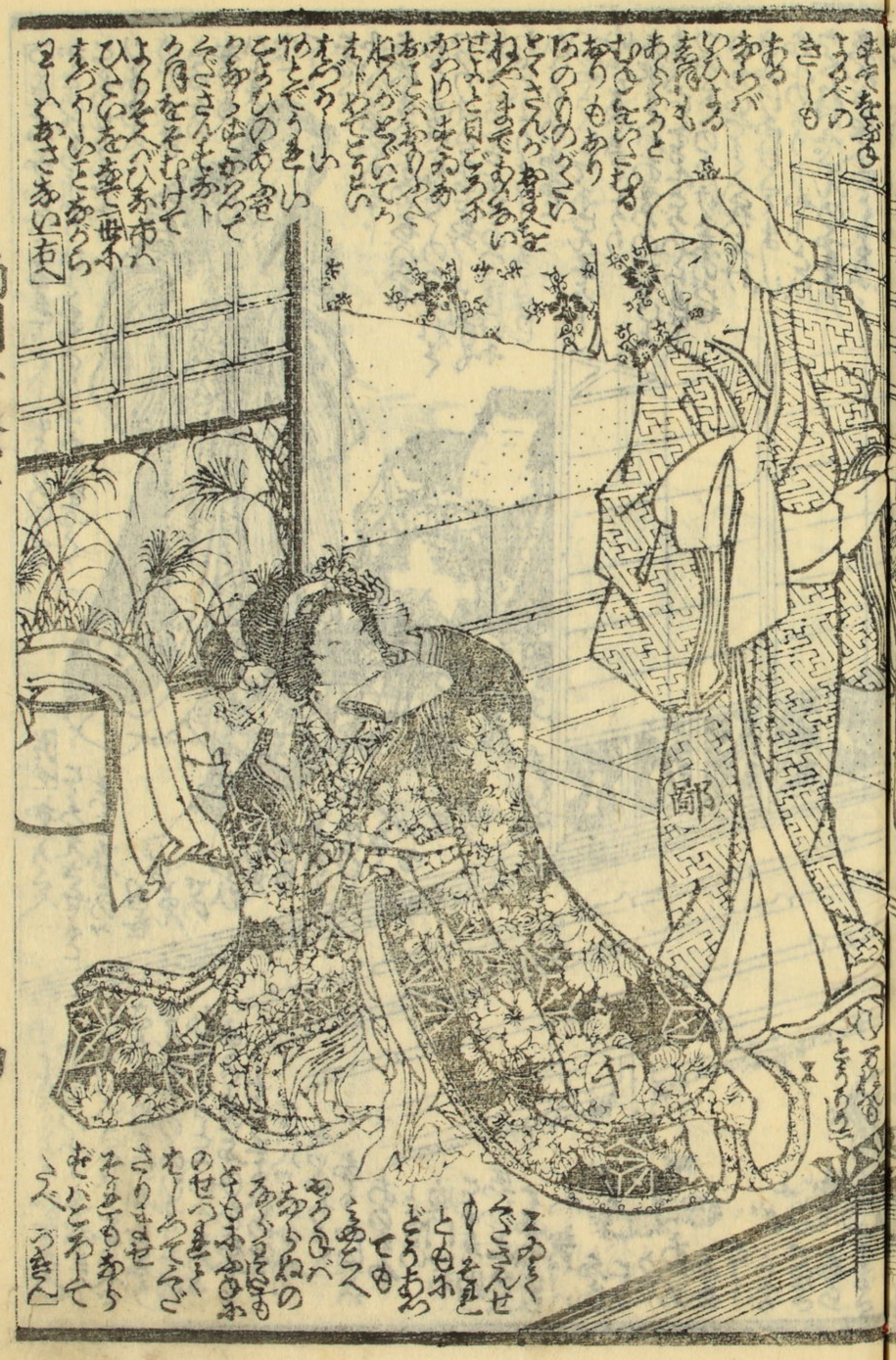


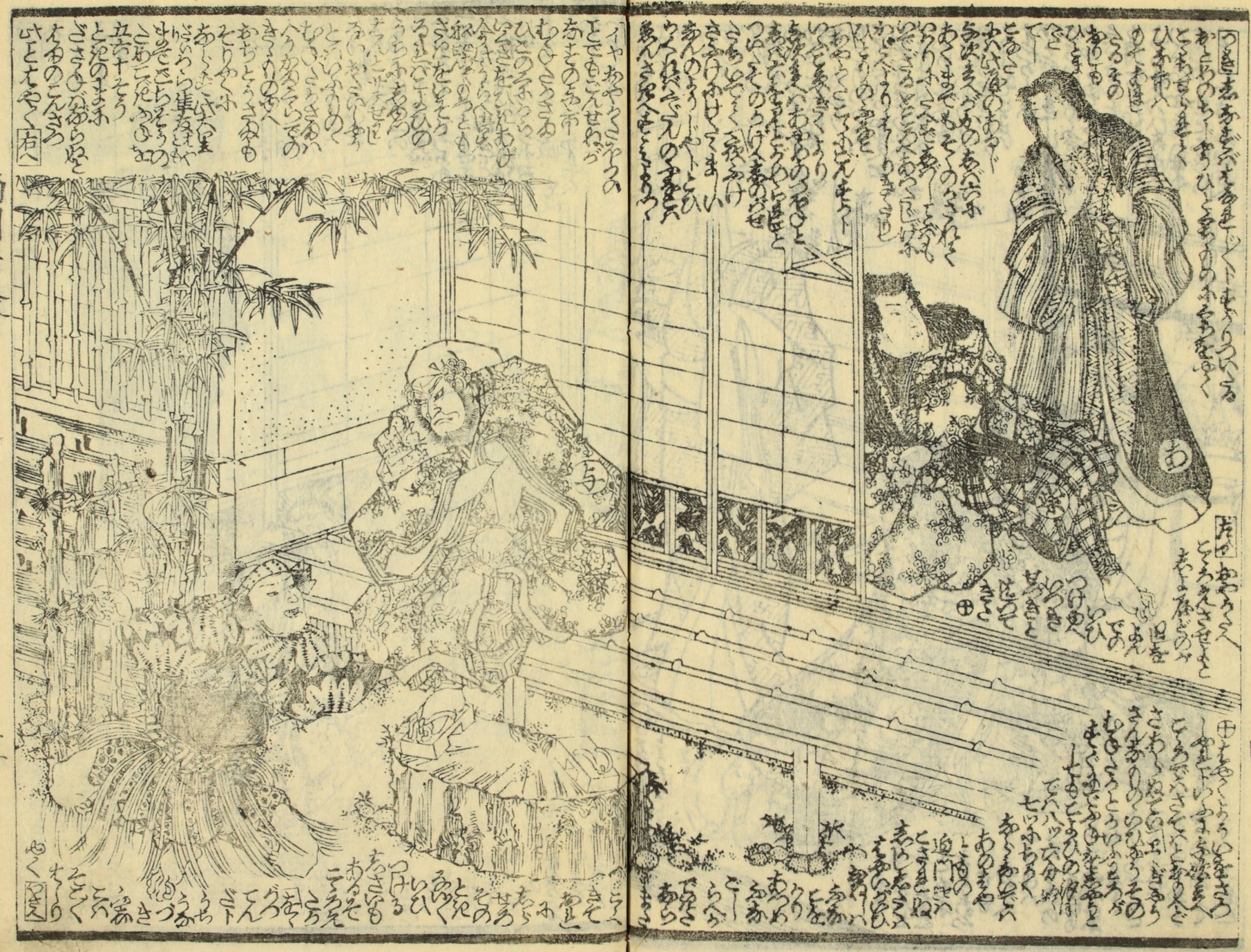
爲永春水補綴梅蝶樓國貞画

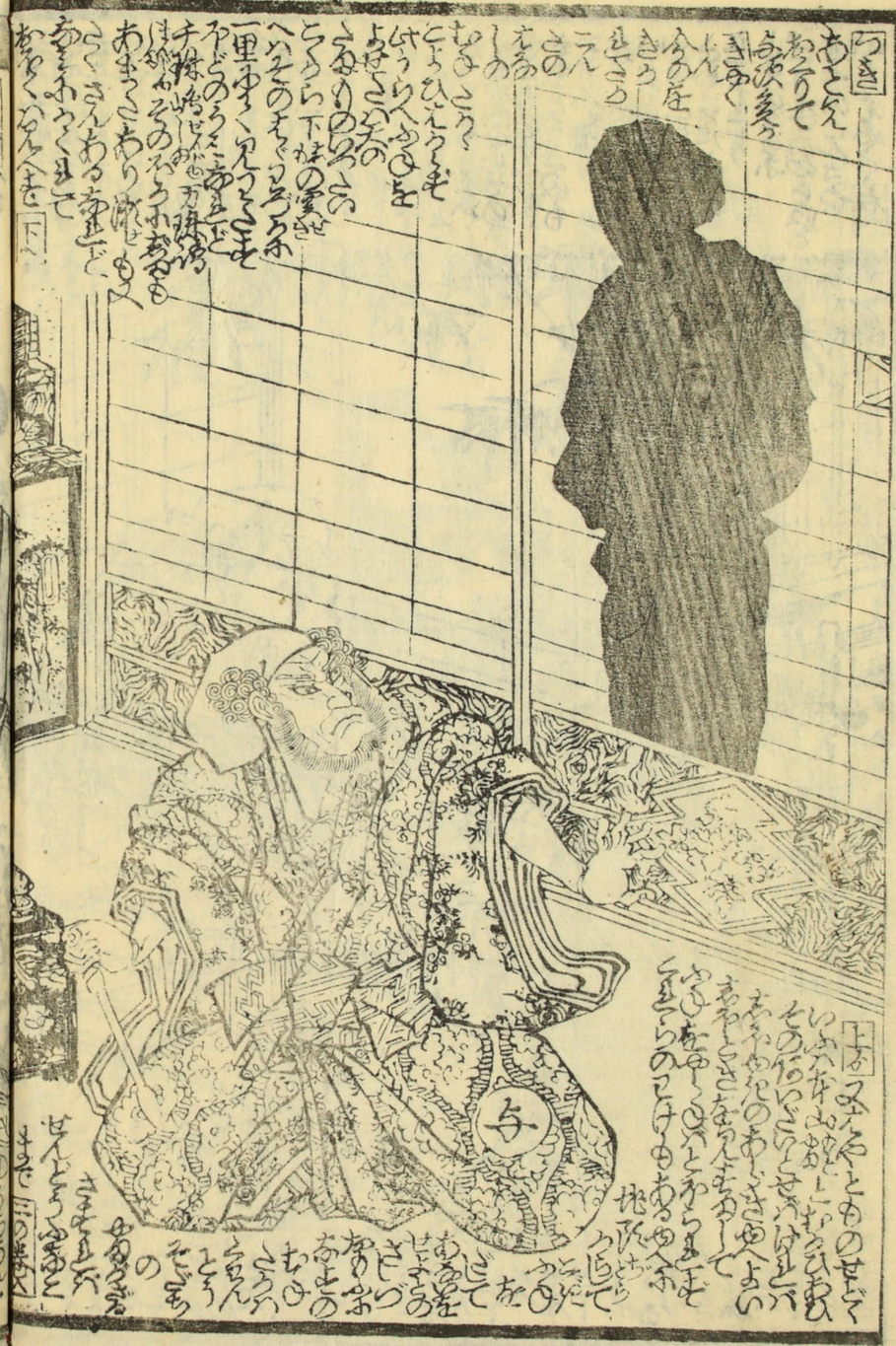
中國九州と分たる地ハ長門の國赤間關と豊前の國大里或ハ門司の浦あり。その間徑直一里許の海上ゆく僅ふ大河の如く見ゆれど。波逆巻く凄しけ[illegible]ハ汐ふりてハ通船悩ハぜ。最難所といつべきあり。這處ふ與次兵衛瀬と名号て。海中ふひとつの瀬あり。這ハ尚古豊大閤の。名護屋の陣ふいらうつく御船を覘ひ討んとせしふ。綽露顕て誅せらるゝ。後ふ此瀬ふ塚を築紀。與次兵衛塚とゝく今尚存せり。ふハ這書の時代とハ遥ふ後ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ五柳亭の旧本ふ。那塚の名載られバ予が今増補かまふ及びゝく。與次兵衛ハ[illegible]ゝ[illegible]ゝ假用しつ宗高をもて豊公の其保ふ摸せゝ。其ハ與次兵衛と言へる者ふ[illegible]ゝ曲者ふ[illegible]ゝ詳しく例の好事の妄説あるべ。引用ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ草ふ枝をそへ這編中の條とゝ[illegible]ぬ。

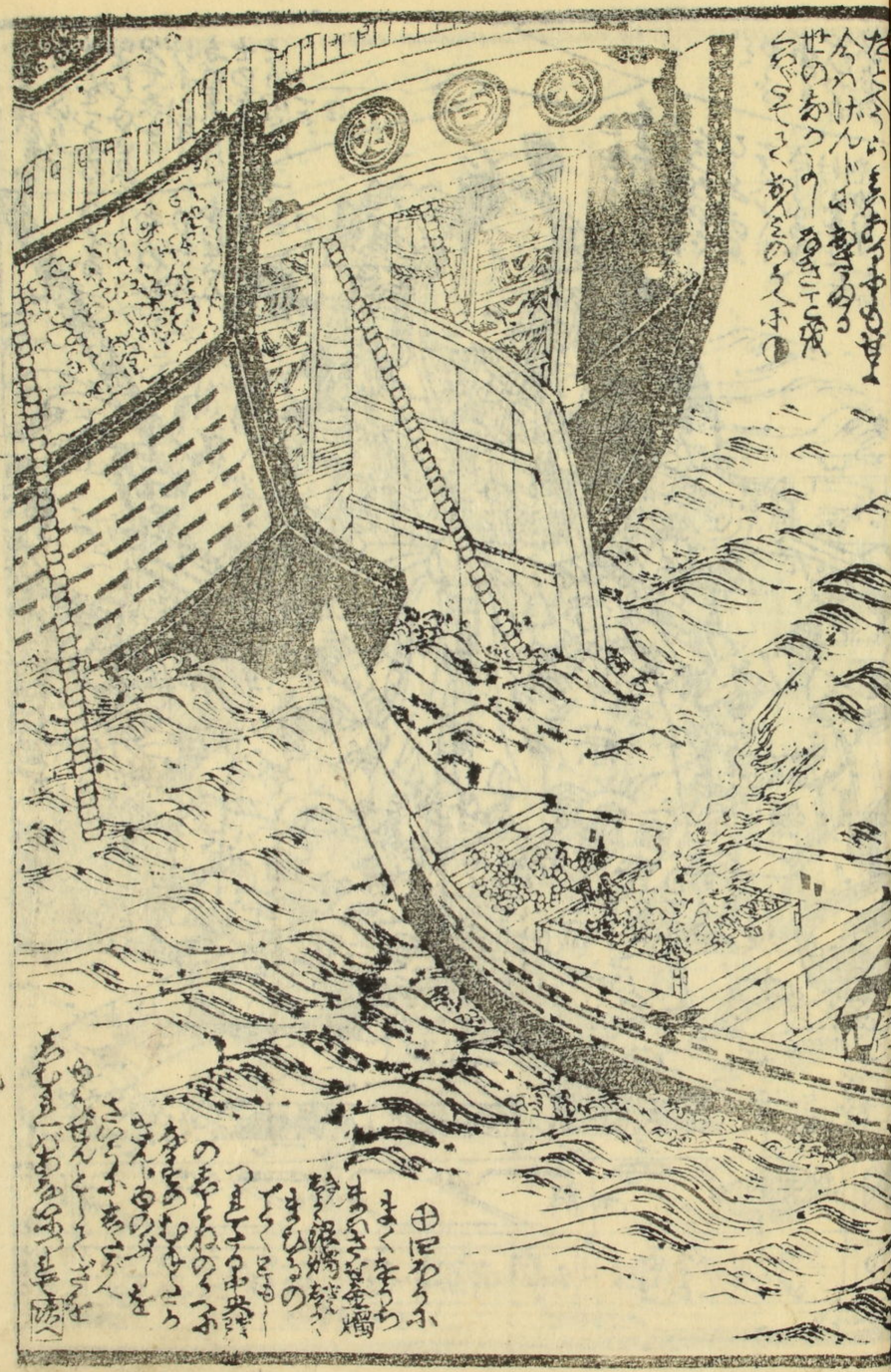
西国巡礼
西国巡礼三
第十六
第十七
第十八

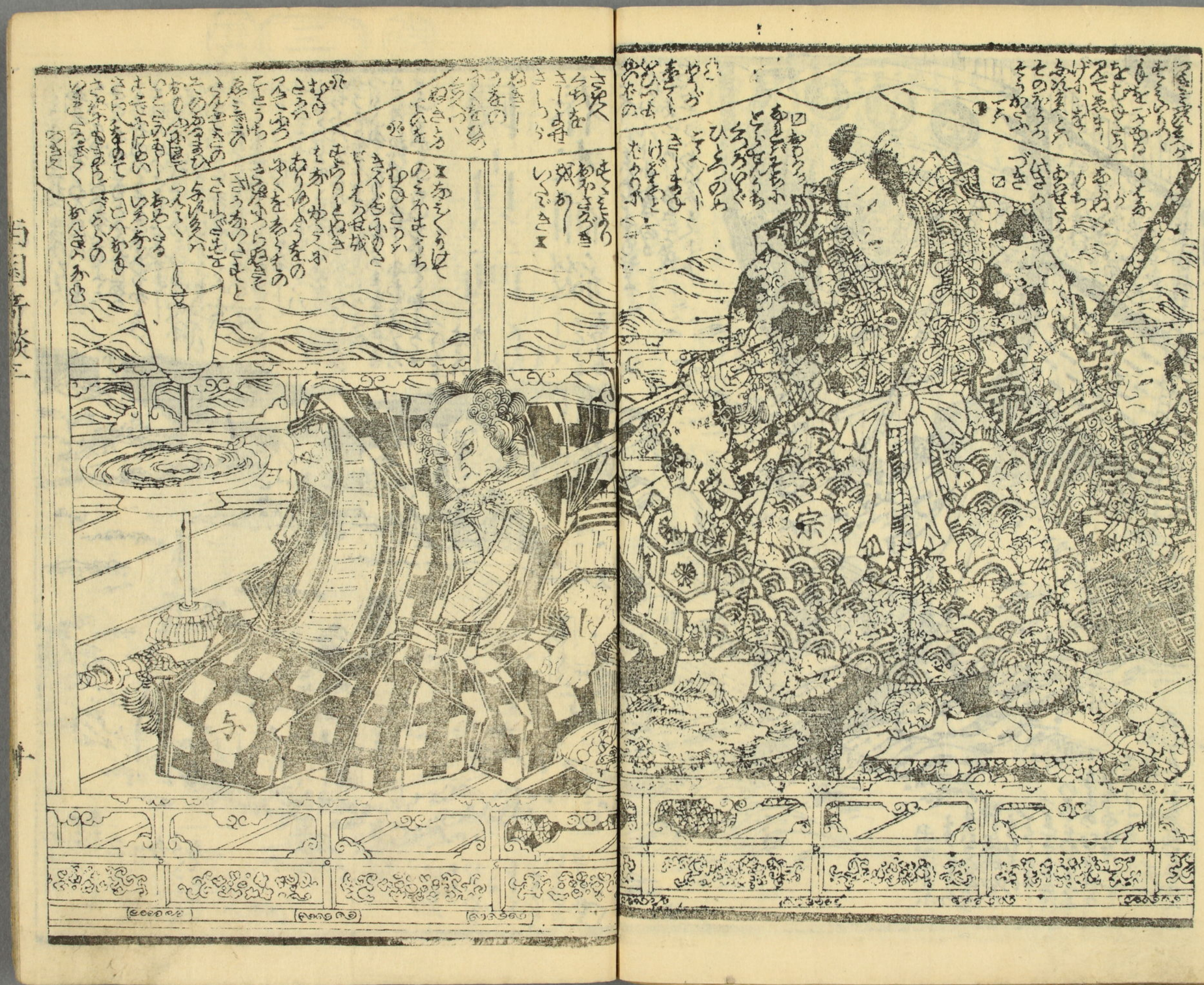




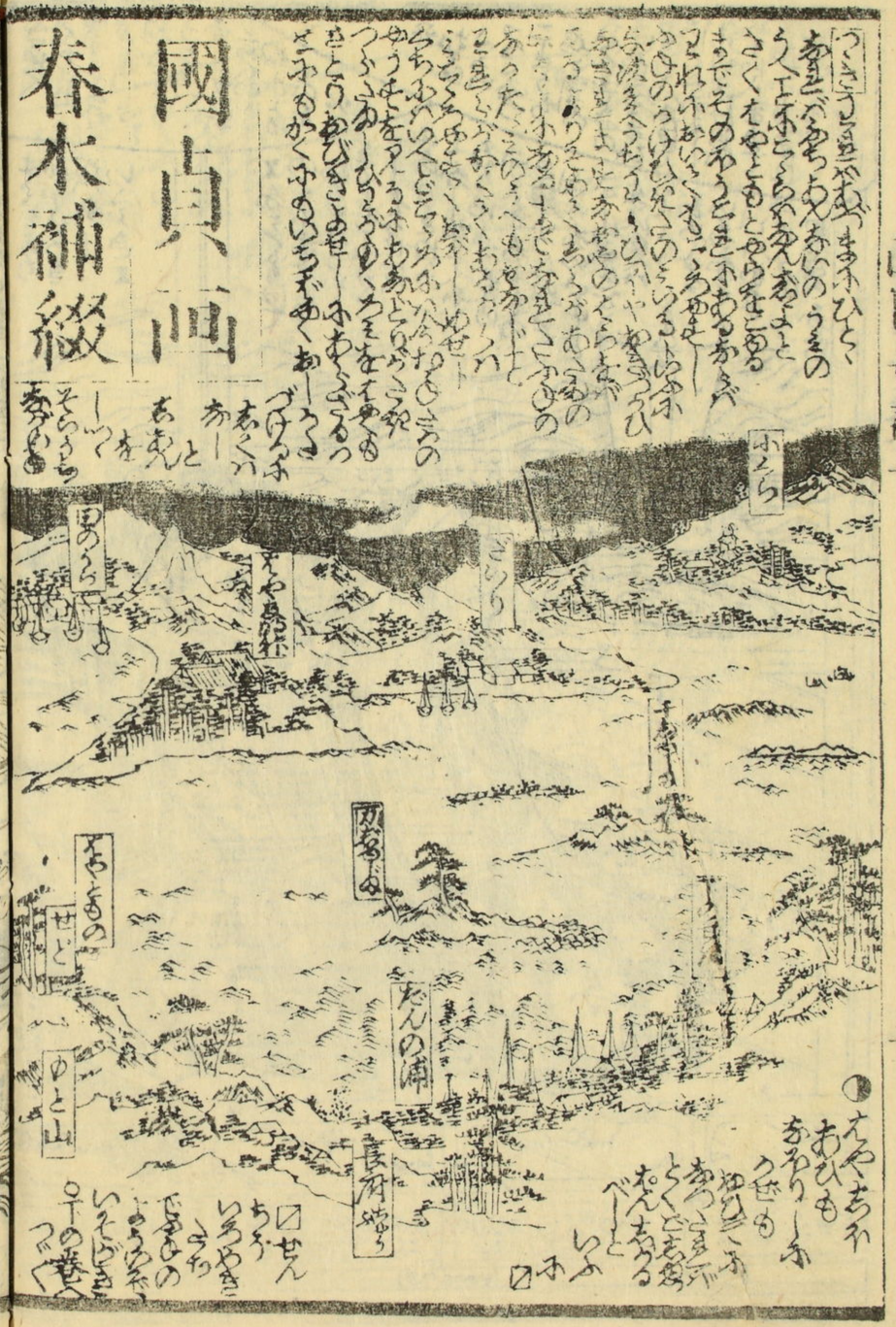


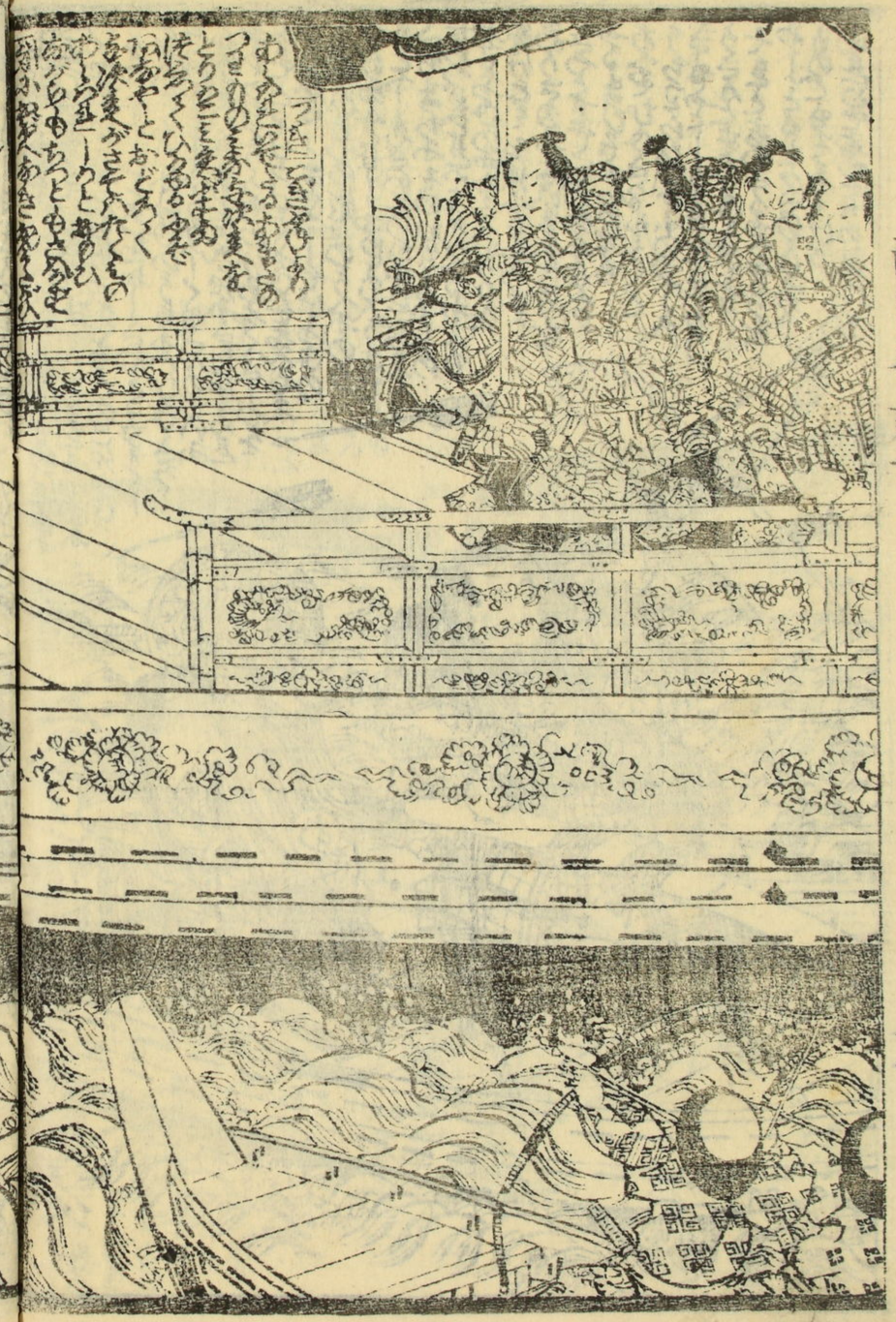


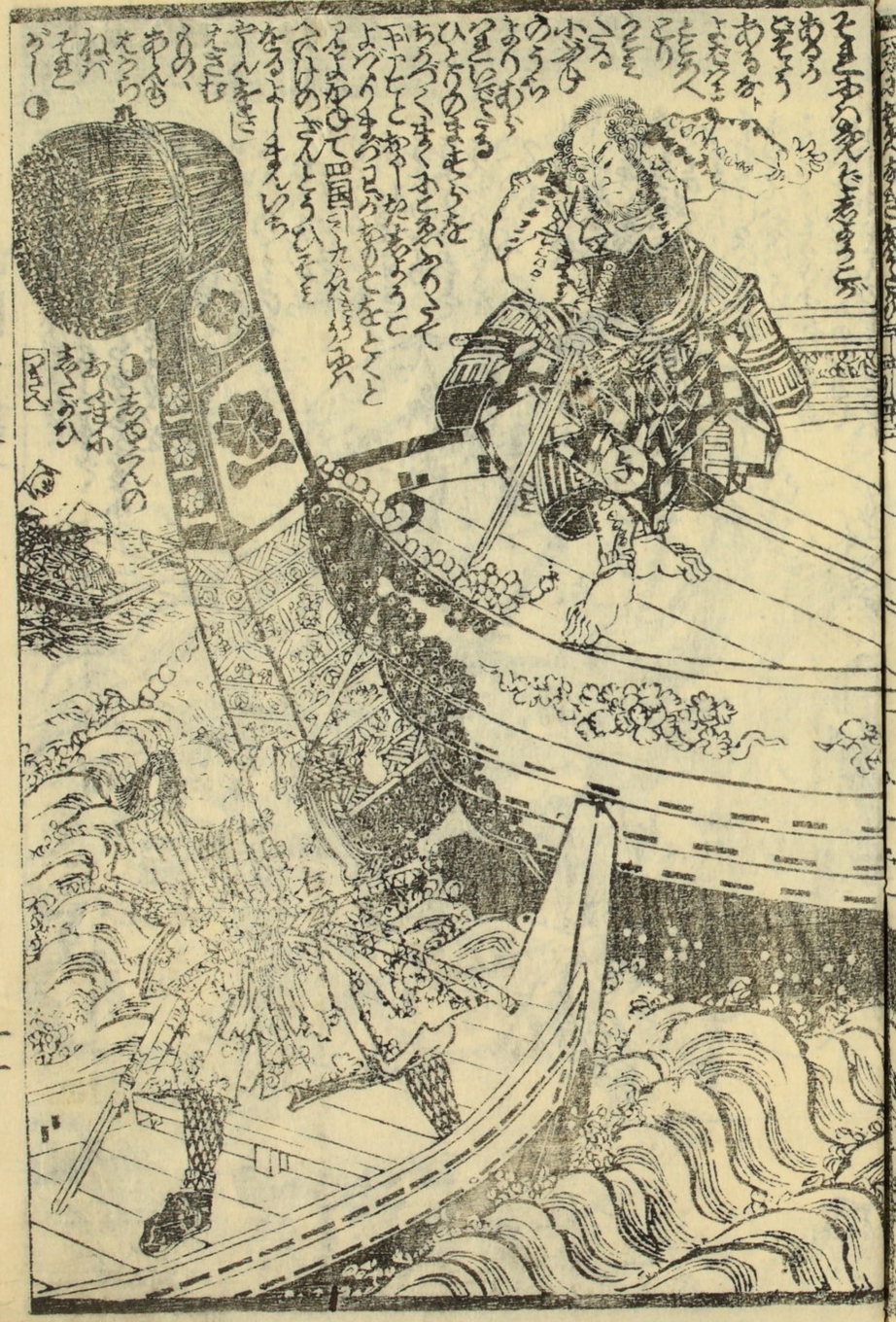


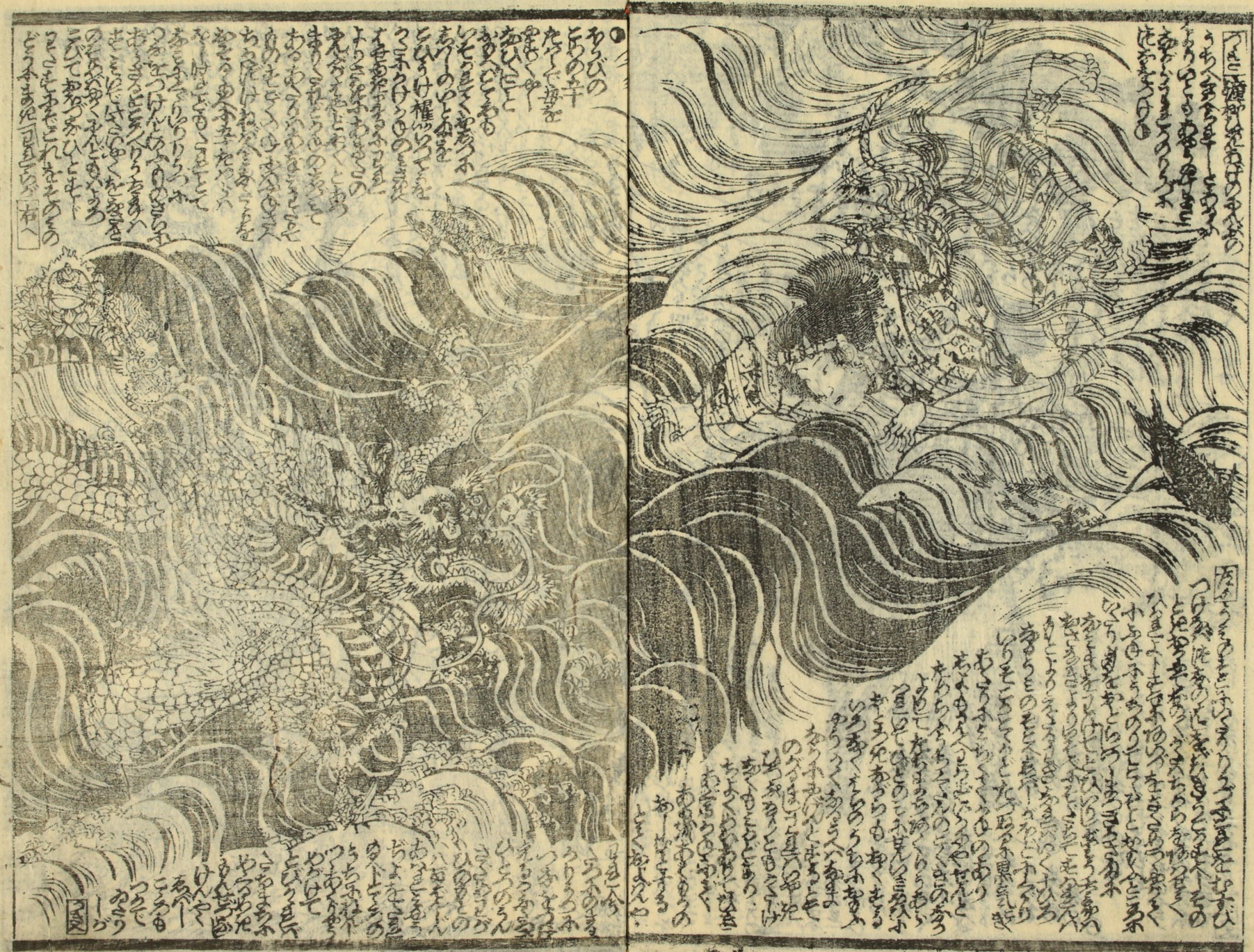


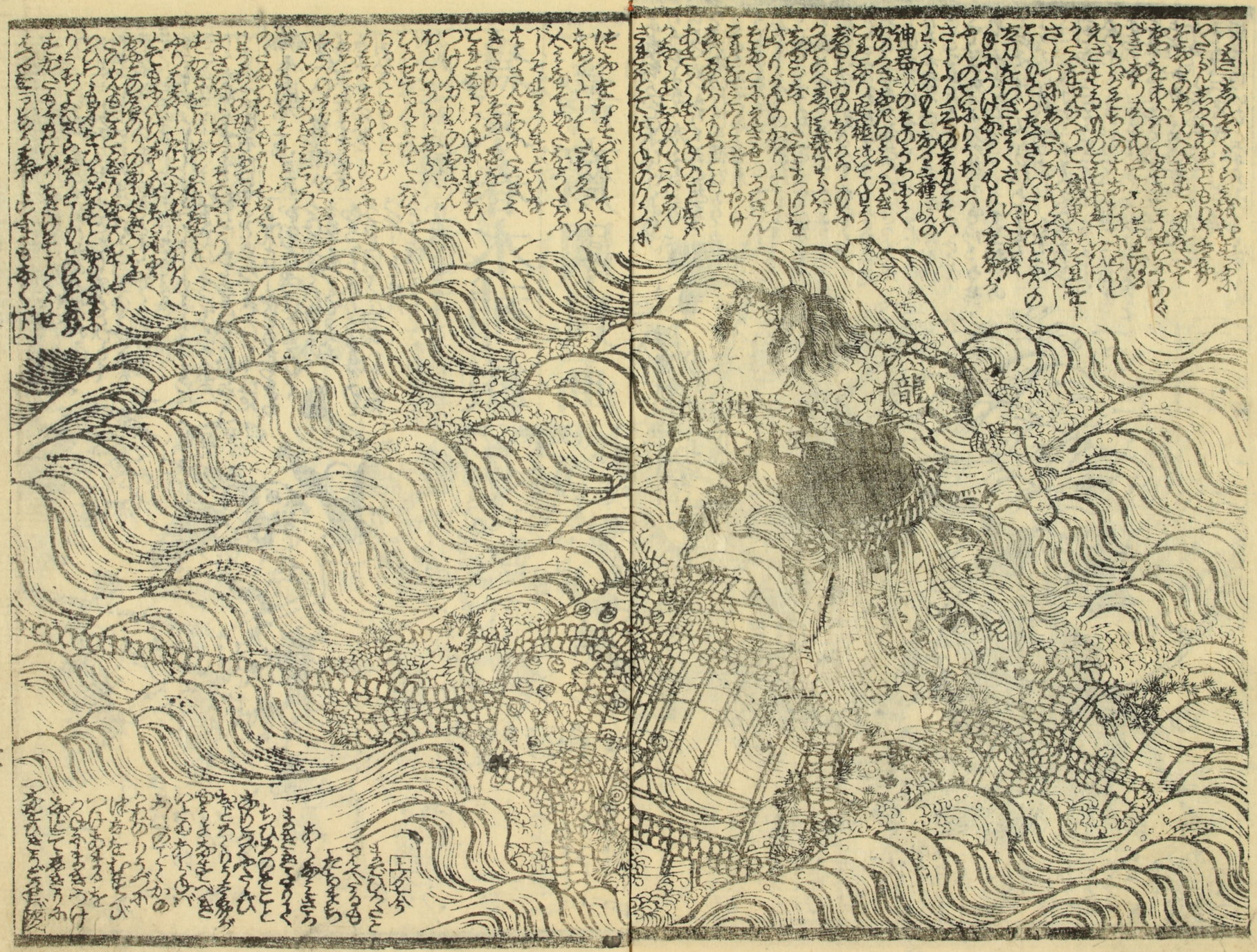
國貞画
春水補綴


小そら
さらり
ほあらら
そやの長松
あくい
あーと
あもん
しーつて
そらさら
あるも
刀ゝ
たちもの
せど
たんの浦
ゆと山
長府ゆう








龍

松飾徳若譚　六編　七編　假名垣魯文作　孟斎芳虎画

今朝春三組盃　初編　一編　三編　山々亭有人補綴　三遊亭圓朝作話　錦朝楼芳虎画図

いろは節要女　初編　十編　歌川周重画

繪本太豐記　初編　二編　三編　孟齋芳虎画作

地本問屋　両國廣小路　加賀屋吉兵衛板